

# 西建協だより

175号

2009年 2月



### 経営講習会に参加して

理事 加藤 隆 (事業委員長)

先日(一月二十八日)、青梅商工会議所との共催により「生き残れる建設業と消え行く建設業、その差はどこにあるのか？」の演題により講習会が開催され、多くの組合員、会員が参加され、講師の先生の話に聞き入っていました。

経営者と社長はどこが違うのか、経営をする会社に転換しなければ会社は存続できない、その為に社員の意識改革と計画管理によりコストダウン、利益率アップを達成させる。

短い時間での講習のために全体を流した内容であったが、的を得ていて参加者も真剣に聞いていました。

資料の中に会社を潰す社長は、努力の鬼、謙虚で常識人、人情家でお人好しと書いてありましたが、ある面は当たって

いますが、果たしてそれが正しいのでしょうか、ほとんどの組合員は地域と共に生活をし、仕事をし、お互いにより良い環境作りを参画しているわけです。利益だけを追求して経営拡大していても、西多摩地域では受け入れられないのではないのでしょうか。

今後は防災協定や各地域との連携をより緊密にし、協同組合としての地域貢献をし、その中で地域の信頼を得て更なる受注に繋げて行くのが大事なのではないのでしょうか。

ある程度の謙虚さと常識は人として経営者としても必要だと思いましたが、皆さんはどう思われたでしょうか。

資料一ページ掲載

こんなタイプが会社を潰す！  
仕事に惚れて経営に惚れない

### 倒産したくなければ

#### 社長は商売をしないで経営をする

・日本の会社280万社で赤字200万社、しかも、法人税1, 2%で90%の日本企業、企業の80%は、設立10年以内に会社を潰す。そんな調査報告があります。社長が目の前の仕事に明け暮れて、経営者の役目をサボるからです。体をはって働くあまり、頭が働かない。社長の思考停止こそ、業績停止の原因。最悪のサボリ屋は、社長の脳みそです。成長を妨害する犯人は、社長自身です。

#### 経営の本質

- ・潰す社長は、働きバチ、努力の鬼  
伸ばす社長は、働かない、考える [知恵]
- ・潰す社長は、謙虚で常識人  
伸ばす社長は、へそ曲がり非常識 [異端児]
- ・社長は売上を作るな、作り方を作れ  
社長は売上よりも、利益から考える

こんなタイプの経営者が会社を潰す

- ・人情家でお人好し
- ・聞く耳を持たないワンマン
- ・自信過剰で高慢
- ・計数、法律オンチ
- ・技術バカ

### 施工体験記

#### 霞川整備工事 (その2)

岩浪建設(株) 現場代理人 監理技術者 清水 哲彦

この度、西多摩建設事務所賞を頂いた事は、当社及び工事に係った関係者一同感謝しており、これからの励みになります。

本工事は、今井小学校脇の調整池に伴っての工事であり、調整池上流部の高水護岸及び低水護岸・天神橋下部・上部の工事が行われました。

今回工事は、当初今井小学校校門前にあった天神橋が古く橋自体を取り壊し、新たに幅員が広い歩行者通路がある新しい橋を構築する工事がありました。

旧天神橋を取り壊すにあたり、仮締切りを行うのに地層等を確認し検討した結果、従来の工法(鋼矢板圧入ウォータージェット併用)での施工では、シートパイルが圧入出来ないと分かり東京都と協議し、岩盤クリア工法を採用する事となりました。

岩盤クリア工法(鋼矢板圧入硬質地盤対応油圧式)を西多摩建設事務所管内で行うのは初めてでありましたがシートパイルを打設した結果、騒音振動が、従来の工法に比べ少なく近隣住民よりの苦情等もありませんでした。

高水護岸を施工するにあたり、右岸の歩行者を一部小学校の敷地内に通す為、絵柄の入ったフェンス等を設けた仮歩道を設置しました。仮歩道設置完了後、間知ブロック積みを行いました。ブロック積みの際、ブロックの傾斜が2割~5分へ変わる為、ブロックの景観(見た目)も考慮に入れ施工を行いました。

低水護岸を施工する際は、自然石の敷詰め方にも細心の注意を払い施工を行いました。

橋台工事を施工するにあたり、橋桁工事が別発注となっていた為、関係会社と十分協議し、橋台及び橋間の出来形・品質に十分注意し、施工を行いました。

橋の上部仕上げを施工する際、近隣住民等の意見を聞き、橋の完成時車等がスピードを出し事故が起きる恐れがあった為、再度東京都と協議を行い、橋上部の設計変更を行い、視線誘導標や薄層カラー舗装等により一般車両の減速を促しました。



今回工事を行うにあたり、近隣住民・小学校関係者に多大な協力を得て、無事竣工する事が出来た事を深く感謝いたします。

今回の受賞も現場職員一同の協力と上記の方々のご協力・ご支援の賜物と感謝しております。

### 講習会開催報告

昨年十二月十日、若手経営者の会主催の講習会を、会員中心に二十三名の出席者を集め開催致しましたのをご報告致します。

講師には前田建設工業(株)総合企画部広報グループより岩坂照之先生をお迎えし、「フミアンタジー営業部とは何か？建設業フアンづくり活動の顛末」をテーマにお話し頂きました。

前田建設フアンタジー営業部とは、アニメーションやゲームに存在する空想上の建造物を創るために行う空想上の良いか、実現する可能性に向けて検討を行うホームページ上の企画です。

### 若手経営者の会代表幹事 岩浪 岳史

行われているということですが。業務案内等固い内容で構成される企業のホームページ上で行うには賛否両論あり、社内で議論を呼んだようです。

論議の対象はやはり、なぜこうしたことを行うのか、でありました。ここで講演タイトルにもある「建設業フアンづくり」という考え方が出てきます。企業の大中小を問わず、建設業に対する一般社会のイメージが芳しくないなか、新規に入ってくる人材の不足にまで影響が出ています。この企画はそうした芳しくないイメージの払拭と、若い人たちに建設業に対して興味をもつってもらうことを目的としているので、その点を評価されて実行にこぎつけ

賛助会員PRコーナー No.9

株式会社 標識一番

本社 及び ショールーム

〒208-0021 武蔵村山市三ツ藤 1-8-6

TEL 042-520-3741(代)

FAX 042-520-3751

東大和支店

東京都東大和市向原 3-2-13

第1 資材センター

〒208-0031 東京都武蔵村山市岸 3-53-7

第2 資材センター

東京都武蔵村山市中原 3-23

事業内容

保安用品の販売及びレンタル

交通安全施設向け備品の販売

各種看板の作成及び販売

テナント向け看板及び電光掲示板等の販売

光り物雑貨・輸入雑貨の販売

ショットバーの運営

# 保安用品の販売&リースは

小売OK!

(株)標識一番

検索

卸売OK!



カラーコーン

コーンバー

車止め

ガードフェンス

カーブミラー

ヘルメット

オリジナル看板

LED灯e, t, c

武蔵村山市三ツ藤1-8-6 (新青梅街道沿い  
ガードマンロボット目印)

## TEL 042-520-3741(代)

### 建設業年度末 労働災害防止強調月間

2009 3月1日～31日

#### 1 月 事 業 報 告

- 9日 広報委員会174号編集発行
- 23日 あきる野地区委員会
- 26日 総務委員会
- 28日 理事会
- 28日 新春経営講習会  
テーマ『生き残れる建設業と消え行く建設業  
その差はどこにあるのか?』
- 28日 新年会  
会場：青梅市福祉センター ふようの間

#### 2 月 事 業 計 画

- 6日 広報委員会175号編集発行
- 16日 総務委員会
- 18日 正副理事長会・理事会

#### ◎多摩橋

昔は私設だった多摩橋は、明治8年(1875年)永田橋とともに公認の渡津となりました。

明治23年(1890年)、河川本流の移動により、草花村へ管理が委譲され、森山の渡しと呼ばれて親しまれていましたが、大正9年、『道交法』が公布施行されました。それまでの渡船や簡易な木橋の整備が行われ、六郷橋、日野橋などとともに、大正14年2月鉄筋コンクリートの「多摩橋」が完成した。(長さ180m、幅5.5m)

秋川筋から多摩川を渡る唯一の永久橋が取り壊されたのは、橋自体の劣化でなく、戦後川砂利の乱堀によって昭和23年(1948年)の洪水で橋脚が陥没し、補修されるまで一時交通途絶してしまいました。

橋基礎の根入れ不足と、幅員の狭さからくる外的条件で、昭和45年3月下流方に現在の橋が出来た。

路線名、主要地方道第7号(杉並五日市線)

通称名は五日市街道

用途 道路橋

橋長 251m

幅員 車道7m 歩道2m×2

構造 桁橋

上部型式：4径間連続

2主 PC 箱桁

下部：橋台2基 橋脚3基

水面まで10m



写真2



(仮橋写真：3)

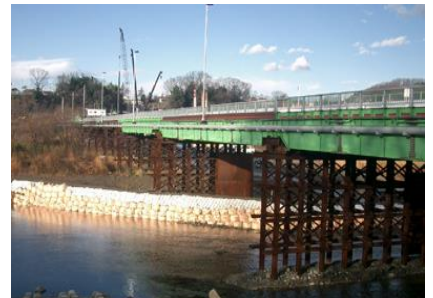


写真1：昭和初期



#### ◇ 特集 ◇ 多摩川に掛かる橋 第24回

##### ◎永田橋

明治21年『福生村村誌稿』に『福生渡』所在は、村の西部、本村と草花村を結ぶ里道の間、多摩川にあり、水深3尺、舟は常備老艘。毎年11月より3、4月の頃迄幅6尺の橋を架ける。」とあります。(写真1：昭和初期、あきる野側より福生を写した写真。以前は、船で越える「永田の渡し」がありました。)

戦後の、疲労困憊の中での、カスリーン台風(キャスリン台風)(昭和22年9月9号)により永田橋全壊し流失。

当時は、米軍横田基地があったため仮橋として、昭和25年に橋脚コンクリート上部は木造の板橋長さ151.00m、幅3.6mができた。その後木部が腐食し東京都は都道95号線(五日市から所沢線)の改修工事として永田橋は、鉄骨コンクリート連続桁に改補、長241.50m、幅6mを昭和32年9月着工し、36年3月完成。(上部型式 4径間連続PC桁 2連 B、B、R、V工法 車歩道分離)現在是一般都道第165号線(伊奈福生線)と改称されています。

(竣工年月 昭和48年3月 写真2)

平成18年11月から架け替え工事が始まり、現在は仮橋となり橋長247.09m、幅員10.5~11.95mH形鋼杭橋台・橋脚(18基)：175本。

(仮橋写真：3) (新橋の完成は平成24年3月の予定とか)